

警察との円滑な連携を目的に  
多数疾病者対応の救急合同訓練

11月18日、町コミュニティセンター裏駐車で、西臼杵広域消防本部と高千穂警察署の合同訓練が行われました。  
今回は、高速バスと観光バスが衝突し、多数の負傷者が発生した事故を想定して行われ、先に到着した警察署員の交通誘導や乗客誘導、負傷者救護などの初動対応をはじめ、消防署員到着後の救助・指揮活動など、実災害への対応が円滑に行えるよう連携強化を図りました。



政治や選挙に関する認識を深める  
第17回わけもんの主張西臼杵予選会

11月12日、町自然休養村管理センターで、宮崎県市町村選挙管理委員会連合会西臼杵支会(甲斐通久支会長)主催の「わけもんの主張」が開催され、西臼杵郡3町からそれぞれ代表2名が、日頃考える政治や選挙についての思いを発表しました。  
本町から、猪野穂乃佳さん(町役場)と大久保優翔さん(高千穂高校2年)が発表。惜しくも最優秀賞は逃しましたが、堂々とした意見を述べました。



子育てしやすいまちづくり  
ベビーケアルームを寄贈

11月10日、Tim株式会社社長 谷川裕介代表取締役(の東祐太郎営業チームリーダー)が町長室を訪れ、組み立て式の簡易ベビーケアルーム(Inamaro lite)の贈呈を行いました。  
東さんは「ベビーケアスペースの整備(職員提案制度についてお話をいただき、子育てしやすい町づくりの支援に役に立てれば」と経緯を話しました。  
今回、寄贈された6台については、避難場所やイベント等で活用することとなります。



職員提案表彰  
業務の効率化と行政サービス向上へ

11月10日、町職員による町政運営の効率化や行政サービスの向上に寄与することなどを目的とした「職員提案制度」の表彰式が行われました。  
今回、6件の職員提案があり、ヒアリングやプレゼンテーションによる審査の結果、上位4件(3団体と1個人)を表彰。最優秀賞に選ばれた「TAKAMO」は、子育てしやすいまちづくりとして「ベビーケアスペースの整備」について提案しました。



伝統と技術の継承  
神話の高千穂夜神楽まつり

11月22・23日、高千穂神社で、神話の高千穂夜神楽まつりが公開されました。  
まつりは、西臼とも本殿で神事が行われ、神楽殿への舞い込みの後、神楽が披露されました。  
23日には、棒術保存会の演舞があり、高千穂中学校の3年生が授業で習った棒術と薙刀を披露し、会場をにぎわしました。  
今年も、地区の神楽が公開されないことから、楽しみにしていた方たちが訪れていました。



広がる景色と山頂でのお昼ごはんを堪能  
大平岳展望ウォーク

11月13日、大平村おこし協議会主催の大平岳展望ウォークが行われました。  
雨上がりで時折晴れ間は出るもののあいにくの曇り空。参加者(約30名)は、集落センターを出発し石神社を参拝するなど、景色を眺めながら、ゆっくりと展望所までの約5kmの道のりを歩きました。  
山頂では、用意された高千穂牛の焼き肉やおにぎりなどのお昼ごはんを堪能しました。



地域へ貢献  
ボランティア活動

11月11日、高千穂電気工業業協同組合甲斐義理理事長が、高千穂神社と穂觸神社のトイレの屋根などの清掃、電器の点検や切れた電球(米良電機産業(株)高千穂営業所寄贈)の交換を行いました。  
甲斐理事長は「手がかけにくい場所なので、日頃から気になっていた。工事以外、このような活動を通じて地域へ貢献できれば」と話しました。  
組合員：(有)丸九電設、(株)日光電機、(有)小林電器商会、(有)上電業(株)、黒田電気工事店、藤本電設、(有)甲斐電気



1日も早い復旧を  
台風被害へ寄附金の贈呈

11月10日、高千穂あまてらす(鉄道工藤雅康代表取締役)の齊藤拓由取締役が町長室を訪れ、台風14号による町の被害に対し寄附金の贈呈を行いました。  
齊藤取締役は「心よりお見舞い申し上げます。高千穂峡をはじめ、1日も早い復旧を願います」と述べました。  
町長は「遊歩道の一部は、11月中には利用可能。残りについても1日も早く復旧できれば」とお礼の言葉とともに話しました。

